

【教育目標】 **総合目標** 知性を磨き、心を見つめ、チャレンジする生徒



チャレンジ☆アイ

- ◎ 自主性、創造性のある生徒 (知育)
- ◎ 情操豊かな生徒 (徳育)
- ◎ 健康でたくましい生徒 (体育)

【2年総合×SDGs】 ～プラスチックから考える持続可能な生活～

9月20日(火)の5・6校時に2学年の総合学習で、身近な生活を通してSDGsについて学ぶ第3回目の授業がありました。今回は、第1回目の「スマホ」、第2回目の「ファッション」に続き、私たちの身の回りにあふれている「プラスチック」を通して持続可能な生活について考えました。前回と同様、NPO法人「沖縄NGOセンター」から新膳朋子さんと玉城直美さんを講師にお招きしオンラインで授業を行いました。また今回は、SDGsの問題を積極的に取り上げ、様々な企業や団体の取組を紹介している琉球放送(RBC)のテレビ取材もあり、夕方のローカルニュースで2年6組の授業の様子が放映されました。



授業では、まずはじめにクイズ形式でプラスチックの基礎知識を学びました。私たちの身の回りには、ペットボトル、スマホ、カップラーメンや弁当などの容器、マスク(不織布)、洋服など多くのプラスチック製品があふれています。その生産量はこの50年間で200倍にも増え、日本は一人当たりの使い捨てプラスチックの量が世界第2位とのことでした。また、ペットボトルが自然分解されるまで400年以上かかるとのことで、マイクロプラスチックによる海洋生物や人間への悪影響が心配されています。授業後半では、プラスチックと関連させて自分の消費活動を振り返ったり、RBCニュース「つなごうおきなわ」の特集「廃棄リサイクル×農業」の映像を見てプラスチックのリサイクルなどについて考えました。オンライン形式の授業にも慣れ、画面を通した講師とのやりとりやチャットによるテキストコミュニケーションにも積極的に取り組む様子が見られました。



【生徒の振り返り】～新たな気づきや持続可能な生活のために出来ることなど～

- ◎ プラスチックという便利な素材があるぶん環境に悪影響があることが分かった。また、最近は様々なものがリサイクルできて大量廃棄の減少につながっていると感じた。日頃から物をすぐ捨てたりせず、物を買うときから捨てる・リサイクルするときまで、環境に優しい判断が出来るようにしたいと思います。(4組 長嶺良皇)
- ◎ 日本は、世界で2番目にプラスチックの廃棄量が多いことと、人の体の中にクレジットカード1枚分のマイクロプラスチックが取り込まれていることを初めて知った。物を買うときは、壊れやすい物やプラスチックが多く使われているものを買うのではなく、長く使える物を買うようにしたいです。また、物を捨てるときはリサイクル出来るかなどを考えて捨てるようにしていきたいです。(7組 仲地希央)
- ◎ プラスチックが海に流れ出ていることは知っていたけれど、そのプラスチックを魚が食べて、私たちもクレジットカード1枚分のマイクロプラスチックを取り込んでいることに驚きました。物を買うときにプラスチックが使われていないか、再利用できるかなど環境のことも考えて買い物をしたいです。家庭でもリサイクルや再利用できる物がないか探したいです。(6組 富村笑莉)

【中堅教諭等資質向上研修】～教職10年程度の先生のスキルアップ!～

「教育公務員特例法」という法律で「(教員は)職務を遂行するために絶えず研究と修養に努めなければならない」と定められており、本校でも授業改善・生徒指導・教育相談・特別支援教育・ICT活用など様々な研修に取り組んでいます。そして、研修の中でも、「初任者研修」と「中堅教諭等資質向上研修」は、対象教員全員が必ず受講しなければならない研修で、年間を通して校内・校外で多種多様な研修があります。

今年度、本校では金城沙矢花先生(国語)、国吉真輝先生(理科)、高安真理先生(家庭科)の3名が「中堅研」に取り組んでいます。今回は、2名の先生の研究授業を紹介します。

◎国吉 真輝 教諭(2年9組 理科)

9月22日(木)の5校時に、国吉真輝先生の理科の研究授業がありました。今回は、「動物のからだのつくりとはたらき」という単元の中の「消化のしくみ」という授業で、「だ液のはたらきについて実験結果をもとに説明する」という内容でした。生徒たちは、「デンプン溶液にだ液を入れた液体」の入った試験管を温め、ヨウ素液とベネジクト液の2つの試薬を用いてデンプン溶液の変化を調べました。そして、実験結果に基づいて、だ液はデンプンを糖のなかまに変化させるはたらきがあることなどを説明していました。



◎金城 沙矢花 教諭(1年3組 道徳科)

9月22日(木)の5校時に金城沙矢花先生の道徳科の研究授業がありました。今回は、「A 主として自分自身に関すること」の「1 自主、自律、自由と責任」という内容項目で、生徒たちは、教科書の『私らしさって?』という読み物資料と「自己分析シート」から集団生活の中で「自分らしく」いるためにできることや、「自分らしくいられる学級」を作るために必要なことなどについて考え、意見交換をしていました。

授業の最後に沙矢花先生は「これからの中学校生活で、自分の気持ちや特性を發揮できずに悩むこともあると思うが、『自分らしくあるには』といつでも振り返って考え、勇気を出してチャレンジして欲しい。」とエールを送っていました。



【一人一研究授業④】～タブレットPCを活用した発表や内容の改善!～

◎丹生 大二郎 教諭(2年3組 技術)

9月20日(火)の1・2校時に丹生大二郎先生の技術の「一人一研究授業」がありました。今回は、「自分の作品をアピールしよう」という授業で、1年生の時に製作したスマホスタンドに、2年生で電気回路の機能を搭載してバージョンアップした製作品をグループ内で紹介し合い、他者のアドバイスを聞いてレポートや作品の改善を行うという内容でした。



◎渡慶次 章乃 教諭(1年3組 英語)

9月21日(水)の2校時に渡慶次章乃先生の英語の「一人一研究授業」がありました。今回は、「Let's Enjoy Japanese Culture」という単元で、ALTのメラク先生に日本や沖縄の文化を紹介する内容を考え、発表練習をし、コメントをもらい改善するという授業でした。生徒たちは、「マッピング」で紹介内容を考え、タブレットや辞書で調べ、意欲的に発表し合っていました。



◎城間 大綺 教諭(3年5組 国語)

9月22日(木)の1校時に城間大綺先生の国語の「一人一研究授業」がありました。今回は、「クラスメイトに説得力のあるスピーチで思いを伝えよう!」という授業で、タブレットPCでお互いのスピーチを動画で撮り合い、アドバイスをし合い、スピーチの内容や構成の改善点を伝えるという内容でした。生徒たちは次時の本番に向けて、意欲的に動画撮影やアドバイスをし合い、スピーチの改善に取り組んでいました。

